



子育てコラム

ささやかな力でも

山武市立日向小学校

こころの相談員

佐野 富子

学校は小さな命が、たくさん輝いている所です。その一人一人の子どもの感じ方・思いはさまざまで、驚くばかりです。学校では相談員として、その子のありのままの心の状態をそのまま受け入れ、共有できる時間を大切にと、日々心がけています。目の前の子どものとたたわいもない会話や、日常のささやかな触れ合いから生まれる温かい関係は宝物です。

子どもは大人を越えていく存在です。生き生きとした笑顔の子どもや自分の気持ちをもどかしそうに懸命に話す子どもを見ていると、どんな大人になるのか、どんな人を好きになり、どんな生き方をしていくのか、見ているだけで楽しみです。掃除当番で来週からメンバー交代になると聞き「寂しくなるね。」と言うと、「大丈夫、また何週間かしたら来るから、心配しないで待っていて。」と言わ

れたり、きつい言葉を口にする子どもの脇からそっと来て「先生、傷つきませんでしたか。」と慰められたり、私自身がどんなに励ましてもらっているかわかりません。「子どものため」と思いながら、本当は豊かに自分がいかされていっている感じがします。成長の過程で子どもは自分の力を元気に広げながらも、時にはしょんぼりしたり、心が折れそうになったりします。そんなしなやかな成長の変化を、温かく見守りたいと思っています。

ご家庭でも子どもの「甘えたい。」「話を聞いて欲しい。」という気配が感じられたら、優しく受け止め、子どもに温かい言葉や心、そして手をさしのべてあげてください。寂しさや寄り添って欲しい気持ちには、受け入れられる事で満ち足りた気持ちになり、強い自立の芽が育ちます。子どもののぞむ

とおりにする事は、甘やかす事のように考えられていますが、子どもは受け入れてもらえた安心感から、心の調子を整えると自然と前へ進めます。いつもいい方向へ向かっていると感じさせてくれた多くの子ども達との出会いの中で、私自身本当にそう思うようになってきました。

子どもは、いつでも「頑張りたい。よくなりたい。」という向上心を持っています。ですから、大きくなつてからでも子どもの気持ちを十分受け入れて、安心の土壌をつくってあげる事は必要だと思います。子どもをとりまく人々との小さなやりとりの積み重ねが、人への信頼、自分への自信に繋がっていくのかもしれない。

子どもと一緒にいる時間ほど、幸せな時はありません。遠い昔、「おかあさん」と呼んでもらえる嬉しさに何度もせがんで言っても

らったり、降り出した大雨に裸足で子どもとはしゃいだりした、そんなかけがえのない時を共に過ごした幸せな時間がありました。時には、はぐれていきそうな子どもの心を遠くから見守るだけしかできなかつた親でしたが、私にとつて子育ては、人との心のこもった触れ合いを学べた原点だったと思います。

初めて相談員として赴いた学校で、ある子から「先生、学校に何しに来てるの。」と聞かれた事がありました。「大好きなあなたに会いにきているんです。」そう答えたあの時の気持ちは、今も変わリません。

今日も、子どもたちが元気になれる魔法の粉をかけてあげられたら幸せです。

【子育て相談受付中】

子育てで悩んだ時、困った時、不安になった時など子育てに関することならどんなことでも気軽に相談ください。

相談電話

(80)1456

受付時間

月・水・木・金曜日
午前9時～午後4時半

(水曜の午後・祝祭日を除く)

教育委員会生涯学習課